

2021年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	子どもの食と栄養 I		教員氏名	及川 静	
学年	2年		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士必修		実務経験	管理栄養士	28年
テーマ	小児期の発育・発達・健康に必要な栄養の基礎的知識、乳幼児期にふさわしい食生活の展開について知識・技能を				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群 I 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群 II 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群 III 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群 IV 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	管理栄養士として病院、保健センターに勤務し、乳児健診等において栄養相談を行っている。実務経験をもとに、子どもの発育・発達と食生活の関連を保護者の食生活上の悩み等を交えて解説する。栄養に関する基本的知識、子どもの発育・発達の特徴、乳児期・幼児期の食生活のあり方や支援の方法を学ぶ。調乳・離乳食の実習を行うことで理解を深める。乳幼児の食生活について、フィールドワーク、ディスカッションを行い、子どもと保護者への支援ができる力を培う。				
授業の到達目標	1.子どもの食生活上の発育・発達の特徴を学び、発達に応じた援助を実施できる。				
	2.エネルギー、栄養素や食品についての基本的知識を身につけ、健康的な食生活を述べることができる。				
	3.乳幼児期の心身の特徴と食生活の関係を学び、食生活上の問題への対応や保護者の支援を実施できる。				
テキスト	「子どもの食生活<<第5版>> -栄養・食育・保育-」 上田玲子 編著 ななみ書房				
参考書	なし				
ポートフォリオ					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				
	その他: 分散授業(対面授業7:オンライン授業6【ハイブリッド型・オンデマンド型・自己学習型】)				○
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題参加度出席態度等	100	授業内提出課題30%、達成度確認テスト50%、小テスト20% 実習時の服装は、エプロン、三角巾、上履きを着用すること。忘れた場合は、授業への参加は、衛生・安全上の観点から認めない		
	その他				
授業概要と課題					

第1回	テーマ 内容	成人期と異なる子どもの栄養と食生活の特徴を学ぶ	
	授業外学習	予習 テキスト(p.11～19)を読んでおく 復習 保育実習等で体験した子どもの食事情について考察する	55分
第2回	テーマ 内容	子どもの発達と食生活を理解するための栄養の基礎知識として5大栄養素を学ぶ①(エネルギー・炭水化物・脂質)	
	授業外指示	予習 テキスト(p.35～45)を読んでおく 復習 授業時に配布したプリントの内容を復習する	55分
第3回	テーマ 内容	子どもの発達と食生活を理解するための栄養の基礎知識として5大栄養素を学ぶ②(たんぱく質・ビタミン・ミネラル・水分)	
	授業外指示	予習 テキスト(p.45～49)を読んでおく 復習 授業時に配布したプリントの内容を復習する	55分
第4回	テーマ 内容	発育・発達のために何をどのくらい食べるとよいかを学び、食事バランスの評価をする・小テスト	
	授業外指示	予習 テキスト(p.50～62)を読んでおく 課題 自分の2日分の食事を書き出し、食事バランスを評価する	55分
第5回	テーマ 内容	子どもの身体発育や食べる機能の発達について理解する	
	授業外指示	予習 テキスト(p.21～34)を読んでおく 復習 授業時に配布したプリントの内容を復習する	55分
第6回	テーマ 内容	乳汁栄養の特徴を知り、保育者としてのかかわり方を考える	
	授業外指示	予習 テキスト(p.63～78)を読んでおく 復習 授業時に配布したプリントの内容を復習する	55分
第7回	テーマ 内容	人工栄養の調乳を実習し、粉乳の種類と特徴を理解する	
	授業外指示	予習 調乳方法を確認し、市販されている粉乳の種類を店頭で調べてくる 課題 粉乳の特徴と扱いの注意をまとめる	55分
第8回	テーマ 内容	離乳の必要性と役割を学ぶ	
	授業外指示	予習 テキスト(p.79～81)を読んでおく 復習 授業時に配布したプリントの内容を復習する	55分
第9回	テーマ 内容	離乳の支援のポイントを学習する	
	授業外指示	予習 テキスト(p.81～93)を読んでおく 復習 授業時に配布したプリントの内容を復習する	55分
第10回	テーマ 内容	離乳食の進行・調理実習	

第10回	授業外指示	課題 離乳食に扱いやすい食材と調理形態をまとめる	55分
第11回	テーマ内容	幼児期の心身の発達と食生活の関わりを学習する・小テスト	
	授業外指示	予習 テキスト(p.95～101)を読んでおく 復習 授業時に配布したプリントの内容を復習する	55分
第12回	テーマ内容	幼児期の栄養・食生活の実態と保育者としての対応を考える	
	授業外指示	予習 テキスト(p.101～108)を読んでおく 復習 授業時に配布したプリントの内容を復習する	55分
第13回	テーマ内容	達成度確認テスト、課題・レポート返却	
	授業外指示	栄養に関する基本的知識、子どもの発育・発達と食生活の関連について総括する	55分

課題に対するフィードバックの方法

- ・提出されたレポートにコメントを記入し、クラスルームを通じて返却する。
- ・採点した小テストを当該学生に開示し、できなかった問題に対して解説する。

2021年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	子どもの食と栄養Ⅰ		教員氏名	上田まなみ	
学年	2年		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	1単位	
必修・選択	保育士必修		実務経験	管理栄養士	9年
テーマ	小児期の発育・発達・健康に必要な栄養の基礎的知識、乳幼児期にふさわしい食生活の展開について知識・技能を習得する				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	管理栄養士として病院に勤務し、成長障害やアレルギー、代謝疾患、生活習慣病をもつ児や妊産婦の栄養管理計画・栄養相談を行っている。実務経験をもとに、子どもの発育・発達と食生活の関連を保護者の食生活上の悩み等を交えて解説する。栄養に関する基本的知識、子どもの発育・発達の特徴、乳児期・幼児期の食生活のあり方を学ぶ。調乳・離乳食の実習、グループワークを行うことで理解を深める。乳幼児の食生活について、フィールドワーク、ディスカッションを行い、子どもと保護者への支援ができる力を培う。				
授業の到達目標	1.子どもの食生活上の発育・発達の特徴を理解し、発達に応じた援助ができるようになる。 2.エネルギー、栄養素の基本的知識や食品の組み合わせ方を理解し、健康的な食生活を実践できる。 3.乳汁栄養・離乳食の特徴・意義を理解し、離乳食の進め方がわかる。調理・試食を通じて保護者の支援ができる。				
テキスト	「子どもの食生活〈第5版〉 ー栄養・食育・保育ー」 上田玲子 編著 ななみ書房				
参考書	なし				
ポートフォリオ					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(グループワーク含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
その他: 分散授業(対面授業7:オンライン授業6【ハイブリッド型・オンデマンド型・自己学習型】)				○	
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験	0	実施しない		
	授業内課題参加度 出席態度等	70	授業内小テスト(20%) まとめワーク1回(40%)、 授業態度と意欲(10% ディスカッションへの参加、発表内容も含む) 実習時の服装は、エプロン、三角巾、上履きを着用し、ふきんを持参すること。 忘れた場合は、授業への参加は、衛生・安全上の観点から認めない。		
	その他	30	課題・レポート提出4回		
授業概要と課題					

第1回	テーマ 内容	成人期と異なる子どもの栄養と食生活の特徴を学ぶ	
	授業外学習	テキスト(p.11～19)を読み、自身の食体験や実習で経験した子どもの食について振り返っておく	55分
第2回	テーマ 内容	子どもの発達と食生活を理解するための栄養の基礎知識として5大栄養素を学ぶ①(エネルギー・炭水化物・脂質)	
	授業外指示	テキスト(p.35～49)を読んで、「栄養」についてどんなイメージをもっているか考えておく	55分
第3回	テーマ 内容	子どもの発達と食生活を理解するための栄養の基礎知識として5大栄養素を学ぶ②(たんぱく質・ビタミン・ミネラル・水分)	
	授業外指示	5大栄養素の働きについて、例題を解いて復習する	55分
第4回	テーマ 内容	発育・発達のために何をどのくらい食べるとよいかを学び、食事バランスの評価をする 栄養の基礎知識 小テスト	
	授業外指示	課題① テキスト(p.50～64)を読んで、自分の2日分の食事を書き出し、食事バランスを評価する	55分
第5回	テーマ 内容	子どもの身体発育や食べる機能の発達について理解する	
	授業外指示	テキスト(p.21～34)を読んで、成長曲線に身長・体重を記録し、評価する	55分
第6回	テーマ 内容	母乳栄養と人工栄養の特徴を知り、保育者としてのかかわり方を考える	
	授業外指示	テキスト(p.65～79)を読んで、母乳栄養のメリット・デメリットを考えておく	55分
第7回	テーマ 内容	人工栄養の特徴を知り、保育者としてのかかわり方を考える	
	授業外指示	テキスト(p.65～79)を読んで、人工栄養や調乳方法の違いによるメリット・デメリットを考えておく	55分
第8回	テーマ 内容	人工栄養の調乳を実習し、粉乳の種類と特徴をフィールドワーク、グループワーク、ディスカッションを通じて理解する	
	授業外指示	課題② 調乳方法を確認し、市販されている粉乳の種類を店頭またはインターネットで調べてまとめる	55分
第9回	テーマ 内容	離乳の必要性と役割を学ぶ	
	授業外指示	予習 テキスト(p.80～83)を読んでおく 復習 授業時に配布したプリントの内容を復習する	55分
第10回	テーマ 内容	離乳の支援のポイントをグループワーク、ディスカッションを通じて学習する	

第10回	授業外指示	課題③ テキスト(p.83～94)を読み、身近な人や著名人の授乳や離乳の体験について調べ、自身の考えをまとめる	55分
第11回	テーマ内容	離乳食の調理実習、グループワーク	
	授業外指示	課題④ 離乳食で扱いやすい食材と調理形態を時期別にまとめる	55分
第12回	テーマ内容	幼児期の心身の発達・栄養・食生活の実態と保育者としての対応を考える	
	授業外指示	テキスト(p.95～108)を読んで、幼児期に起こりやすい食生活の問題への対応を考えておく	55分
第13回	テーマ内容	まとめワーク	
	授業外指示	栄養に関する基本的知識、子どもの発育・発達と食生活の関連について総括する	55分

#### 課題に対するフィードバックの方法

- ・提出されたレポートは、授業時に口頭やプリントにてフィードバックを行う。
- ・採点した小テストを当該学生に開示し、できなかった問題に対して解説する。